

授業科目	解剖生理学	担当講師	非常勤講師 専任教員
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・20時間
科目目標	人体の基本的構造・基本的機能を理解し、生命を維持する働き、生命を活用する働き、成長と老化の現象を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「解剖生理学」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 人体の構造と機能	12	1 形からみた人体 1) 体表から蝕知する人体の構造 (1)骨格 (2)筋 (3)血管 2) 人体の構造と区分 (1)骨格による区分 (2)人体内部の腔所と膜 3) 人体の部位と器官 4) 人体の方向と位置 2 素材からみた人体 1) 人体の階層性 2) 細胞の構造 3) 細胞を構成する物質とエネルギーの生成 4) 細胞膜の構造と機能 5) 細胞の増殖と染色体 6) 組織の種類と構造 3 機能からみた人体 1) 生命維持システム (植物機能) 2) 運動・調節システム (動物機能) 3) 体液 4) 内部環境とホメオスタシス	テキスト「解剖生理学」第1章
2. 代謝と体温調節	4	1 代謝 2 運動とエネルギー 3 熱の産生と放射 4 体温の分布と体温調節 5 発熱のメカニズム	テキスト「解剖生理学」第9章
3. 人体の解剖の実際	4	1 解剖見学に関する事前学習 1) 上肢の筋、神経、血管 2) 頸部 3) 胸部腹部の臓器 4) 中枢神経系 (脳と脊髄) 2 解剖見学 3 学びのまとめ・発表	専任教員による演習 福井大学医学部人体解剖見学